

堺市の環境対策の取組

～地域連携による低炭素化の推進～

平成23年11月25日
堺市 環境局 環境都市推進室



旧堺燈台



千利休屋敷跡



仁徳陵古墳

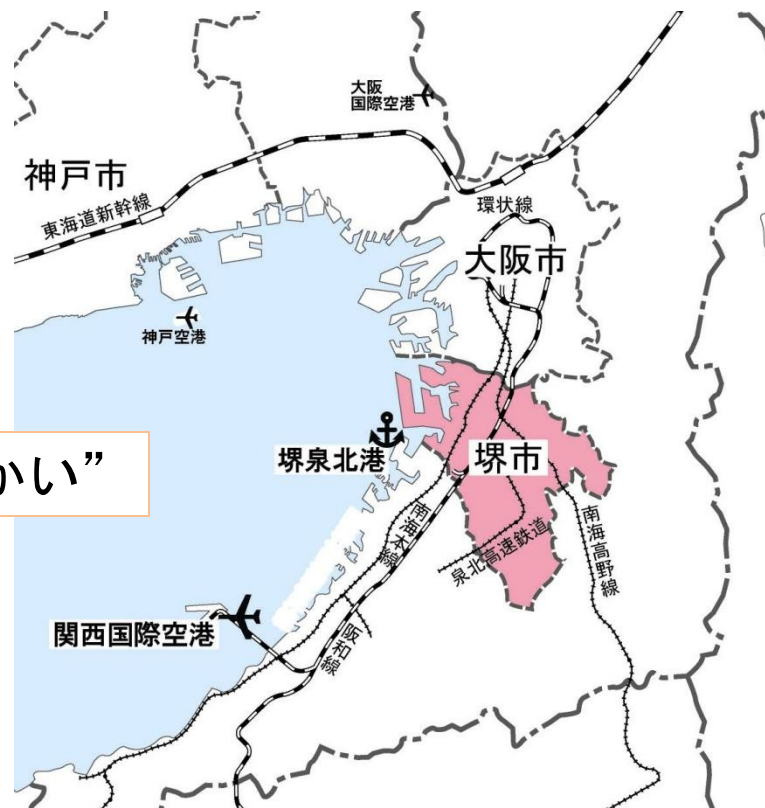
人口：842,596人 面積：159.99km²
 世帯：347,436世帯 人口密度：5,618人/km²
 (平成23年6月1日現在)

伝統・文化のまち “さかい”

世界遺産登録をめざす百舌鳥古墳群、鉄砲製造の伝統を生かした刃物・自転車の製造、茶の湯をはじめ香り高い文化など多くの伝統・文化を有する。

新たな魅力と地域活力を創出するまち “さかい”

環境モデル都市の取組みを通じて、温室効果ガスの大幅な削減だけでなく、都市や地域の新たな魅力や活力の創出を同時に実現する。



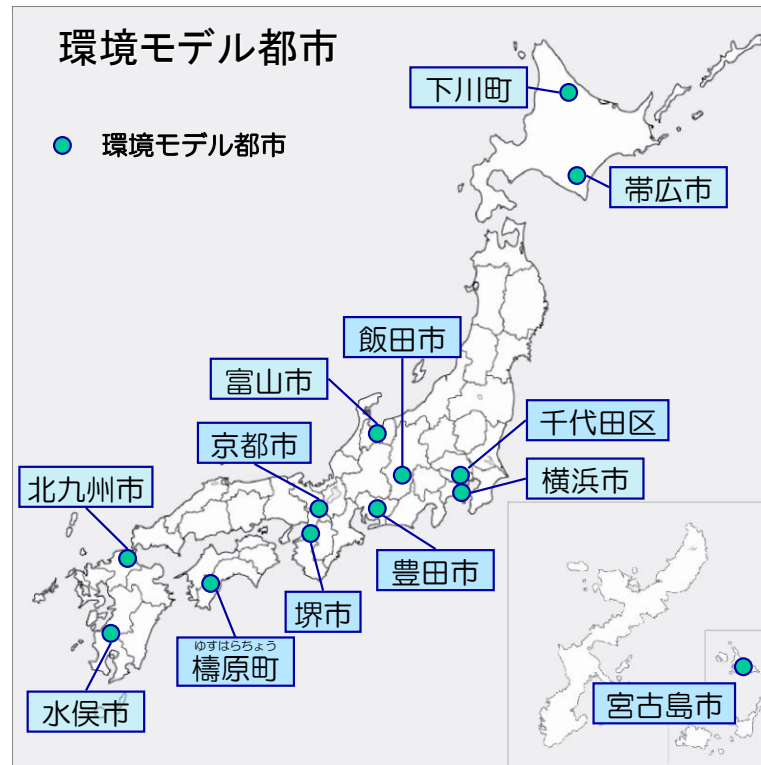
環境モデル都市（13都市）

大都市 : 堺市、横浜市、北九州市、京都市

地方中心都市 : 帯広市、富山市、飯田市、豊田市

小規模市町村 : 下川町、水俣市、橿原町（高知県）、宮古島市

東京特別区 : 千代田区

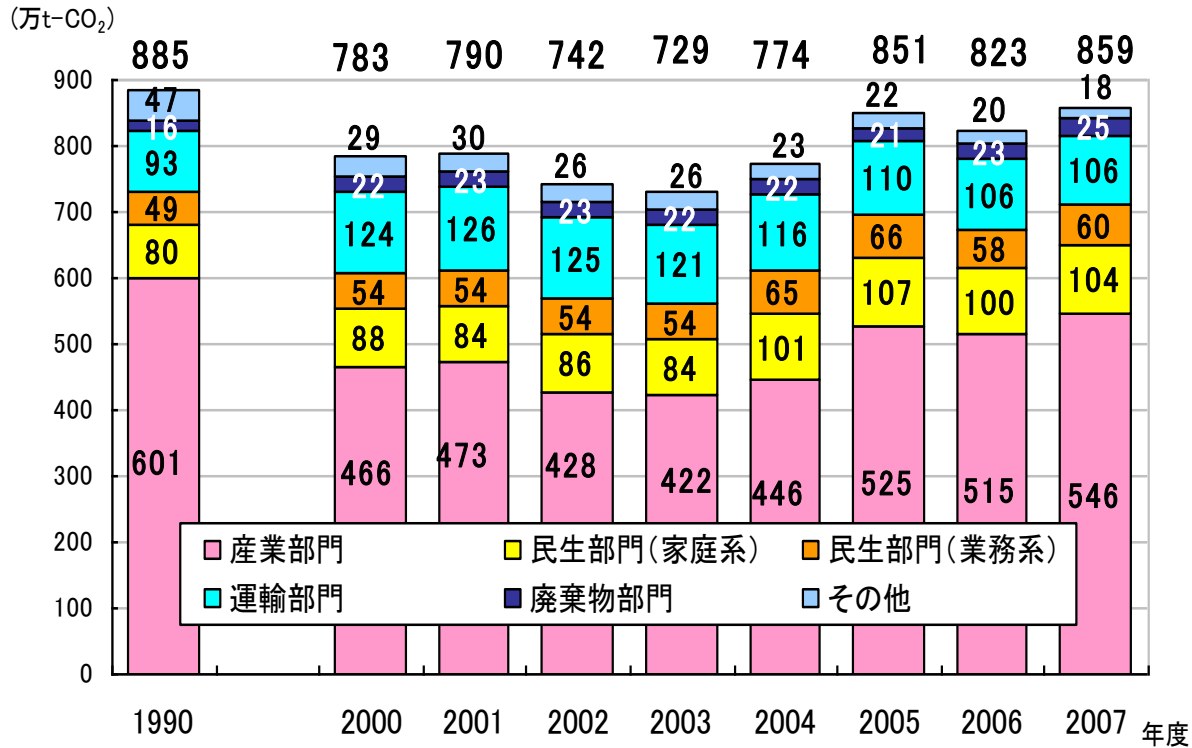


現在の地球温暖化は、地球上のすべての生命を脅かすほど深刻なものとなっています。そのため、私たちは、市民、企業、大学等研究機関、団体、行政が相互に連携し、それぞれが主体性をもって、温室効果ガス削減に向けた生活様式と事業活動への転換に取り組む必要があります。

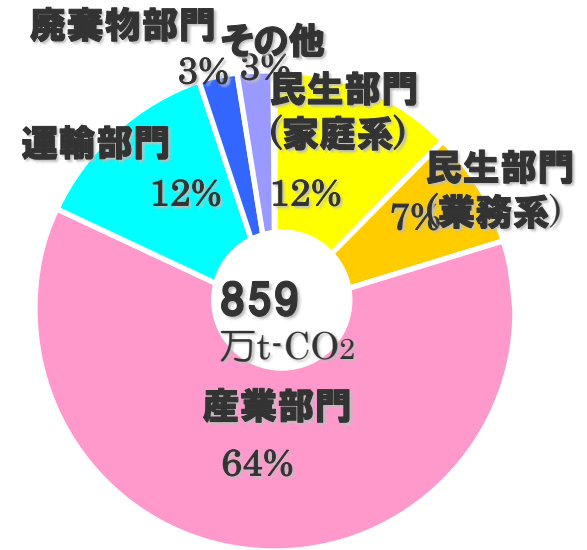
平成21年第1回市議会において、堺・クールシティ宣言に関する決議が全会一致で可決されたことに基づき、市民一人ひとりが、将来にわたって快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市の実現をめざし、ここに私たちはクールシティ・堺を宣言します。

平成21年3月30日
堺市

温室効果ガス排出量の推移(2006,7年値追加)



2007年度 温室効果ガス排出量の割合



排出量の約6割は産業部門が占めており、今後しばらくはその増加が予想されています。

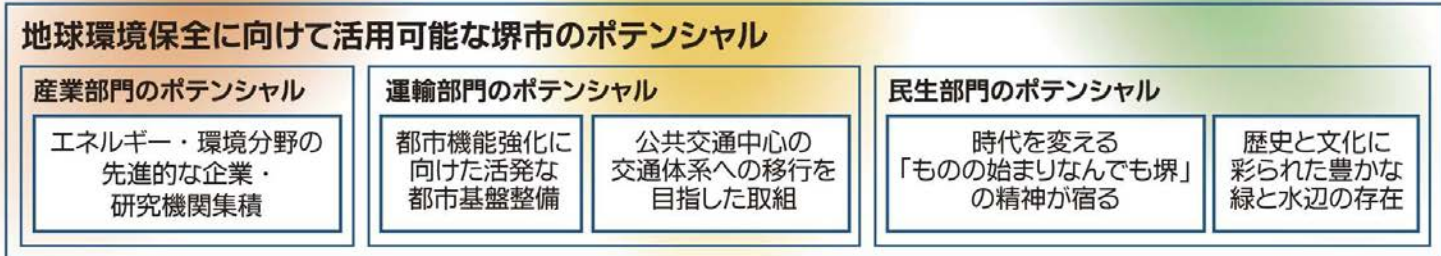
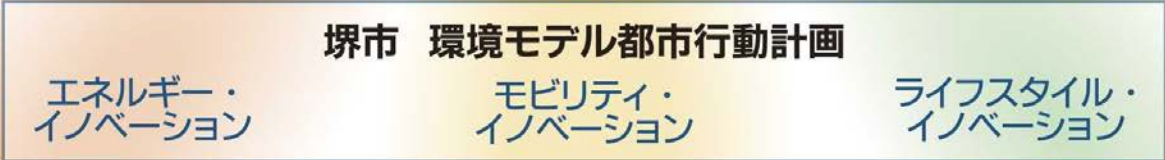
クールシティ・堺の推進 ④

【基本的な視点（地域ポテンシャルを活用した3つのイノベーション）】

- | | | |
|--|---|---|
| <p>①エネルギー・イノベーション
(産業部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先進的・革新的技術による省エネルギーの推進 ●多種多様なエネルギーの活用 ●環境保全と経済成長が両立した産業構造への転換 | <p>②モビリティ・イノベーション
(運輸部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の利用促進 ●自転車・徒歩での移動が便利なまちづくり | <p>③ライフスタイル・イノベーション
(民生部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●低炭素型市民ライフへの転換 ●環境共生のまちづくりを支える人材の育成と市民意識の向上 |
|--|---|---|



削減目標の達成



事例紹介 1

市内金融機関との連携による 「クールシティ・堺」の推進

～SAKAI エコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部の活動～

連携の意義

快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市
『クールシティ・堺』の実現

CO2削減目標の達成

エネルギー・イノベーション

- ・企業の低炭素化
- ・省エネ創エネ製品の創出

モビリティ・イノベーション

- ・公共交通の利用促進
- ・自転車を活かしたまちづくりの推進
- ・エコカーの普及拡大

ライフスタイル・イノベーション

- ・低炭素型住宅の普及
- ・緑の保全と創出
- ・人材の育成

民間金融機関の支援

行政のリーダーシップ・誘導・支援

倶楽部設立の経過

▼平成21年12月

近畿大阪銀行が池田泉州銀行、大阪信用金庫、りそな銀行に呼びかけ、発起人団を結成。

▼平成22年1月

発起人団が市内金融機関に参加を呼びかけ、18金融機関が参加を表明。

▼平成22年2月19日

倶楽部発足。同日、堺市と相互協力に関する協定を締結。

2月19日 倶楽部発足式の様子



参加金融機関(22金融機関)

近畿大阪銀行(発起人)、池田泉州銀行(発起人)、大阪信用金庫(発起人)、りそな銀行(発起人)
阿波銀行、伊予銀行、関西アーバン銀行、紀陽銀行、京都銀行、大正銀行、第三銀行、徳島銀行、
南都銀行、尼崎信用金庫、永和信用金庫、大阪厚生信用金庫、大阪市信用金庫、大阪東信用金庫、
近畿産業信用組合、成協信用組合、大同信用組合、のぞみ信用組合

倶楽部代表 : 近畿大阪銀行(社長 桔梗芳人)

倶楽部副代表: 池田泉州銀行(頭取 吉田憲正)、大阪信用金庫(理事長 樋野征治)

2月19日 相互協力に関する協定書締結式の様子



本市と倶楽部との連携内容

- ◆新エネルギーや省エネルギー関連ローンや融資制度の提供
- ◆店舗での地球温暖化防止への取組みや、啓発活動を実施
- ◆環境関連イベントの実施や協力
- ◆ホームページでの情報発信
<http://sakai-eco-fsclub.jp/>

平成23年5月19日 SAKAI環境ビジネスフェアの実施

企業ブースフロアの様子



場 所: 堺市産業振興センター

主 催: SAKAIエコ・ファイナンスサポーターズ
倶楽部、堺市

企業等展示: 53ブース

環境セミナー: 4講座 300人

入場者数: 1,200人

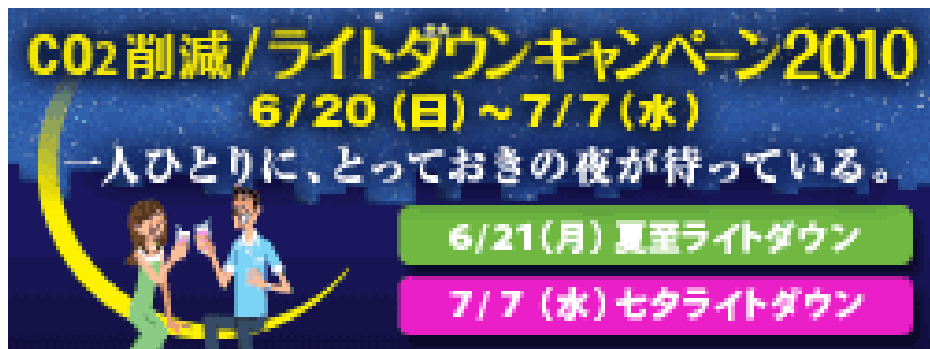
漫才師 酒井くにお・とおるによるエコ漫才



環境セミナーの様子



6月20日～7月7日 ライトダウンキャンペーンへの参加



環境省主催のライトダウンキャンペーンは、期間中、全国で事業所や家庭でライトダウンを実施。

倶楽部参加金融機関全店舗(市内80店舗)でライトダウンを実施。

7月1日～ クールシティ・堺応援窓口の設置及び応援ローンを発売中

倶楽部代表の近畿大阪銀行は、市内9店舗で、「クールシティ・堺サポート窓口」を設置するとともに、「クールシティ・堺応援ローン」を発売。

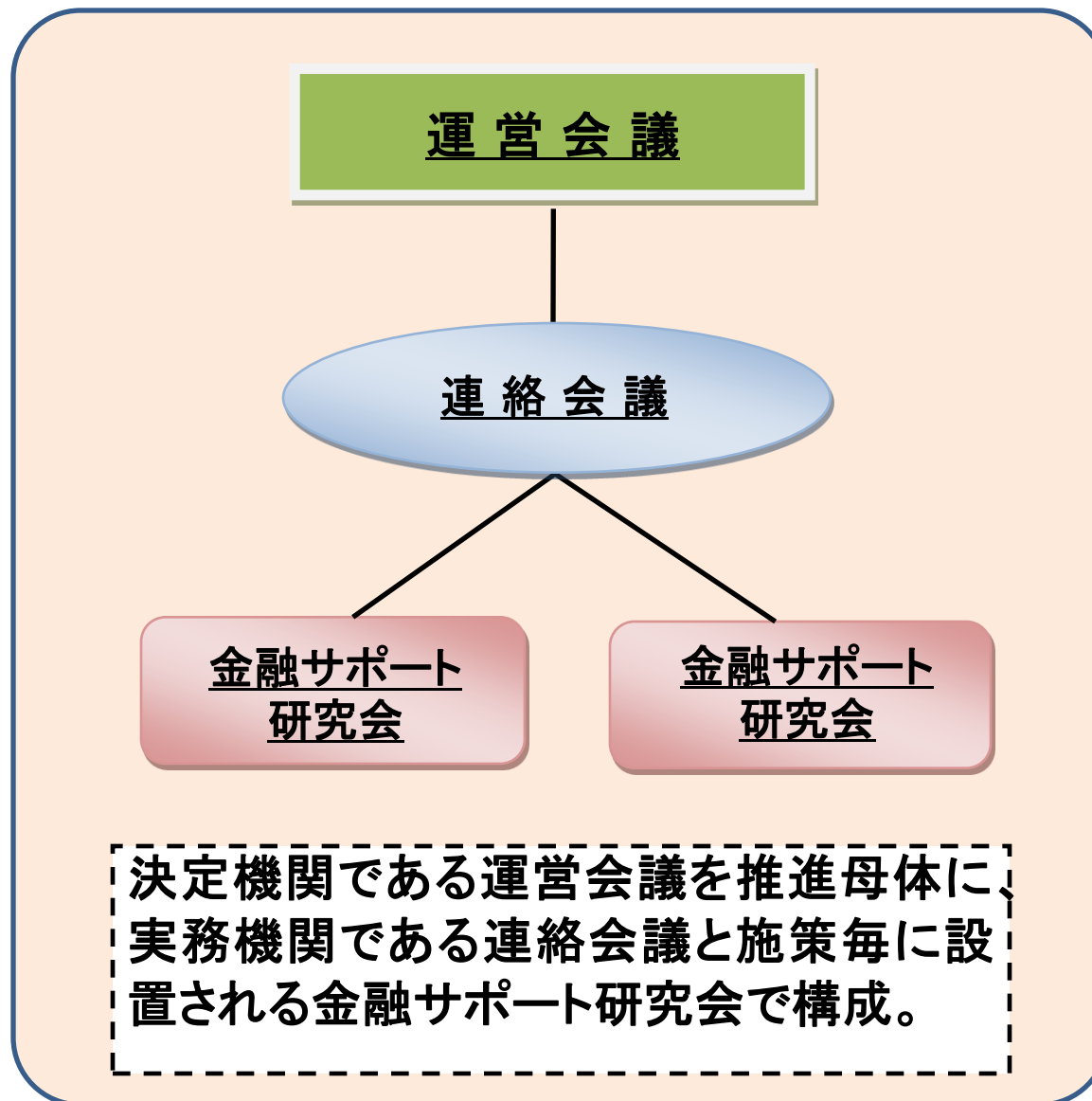
◆クールシティ・堺サポート窓口

- ・環境負荷軽減に寄与する融資の案内・相談
- ・環境ビジネスマッチング情報の提供
- ・国および堺市の環境施策の案内
- ・太陽光発電システム導入シュミレーションの実施

◆クールシティ・堺応援ローン

- ・エコカー購入ローン
市内在住または在勤者を対象に、金利を割引
- ・住宅エコポイント対象リフォーム、太陽光発電システムや高効率給湯器など設備機器購入ローン
市内在住者を対象に、金利を割引

活動内容の協議決定の場、情報交換の場





課題

- 行政情報を倶楽部へ提示するタイミング
- 金融機関の企業努力により開発した商品に対する市の関与の仕方・度合い
- CO2削減量の算定

事例紹介2

地域間連携による 「クールシティ・堺」の推進

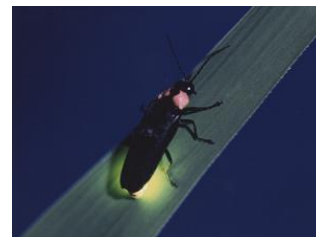
～コスモ石油株式会社堺製油所の東吉野村における森づくり活動～

東吉野村

ホテルを通じて本市との交流が始まった奈良県吉野郡の東吉野村は、村の96%を吉野美林に覆われた美しい村です。

特産品は吉野杉、檜、シメジ、シイタケ、あまご、茶、八徳みそなどです。

(昭和61年(1986年)10月18日友好都市提携)



東吉野村美緑(みりよく)の森づくり事業 コスモの森づくり協定締結

平成22年5月21日



協定当事者

コスモ石油株式会社堺製油所
東吉野村

立会人

堺市長
東吉野村山の学校協議会会長

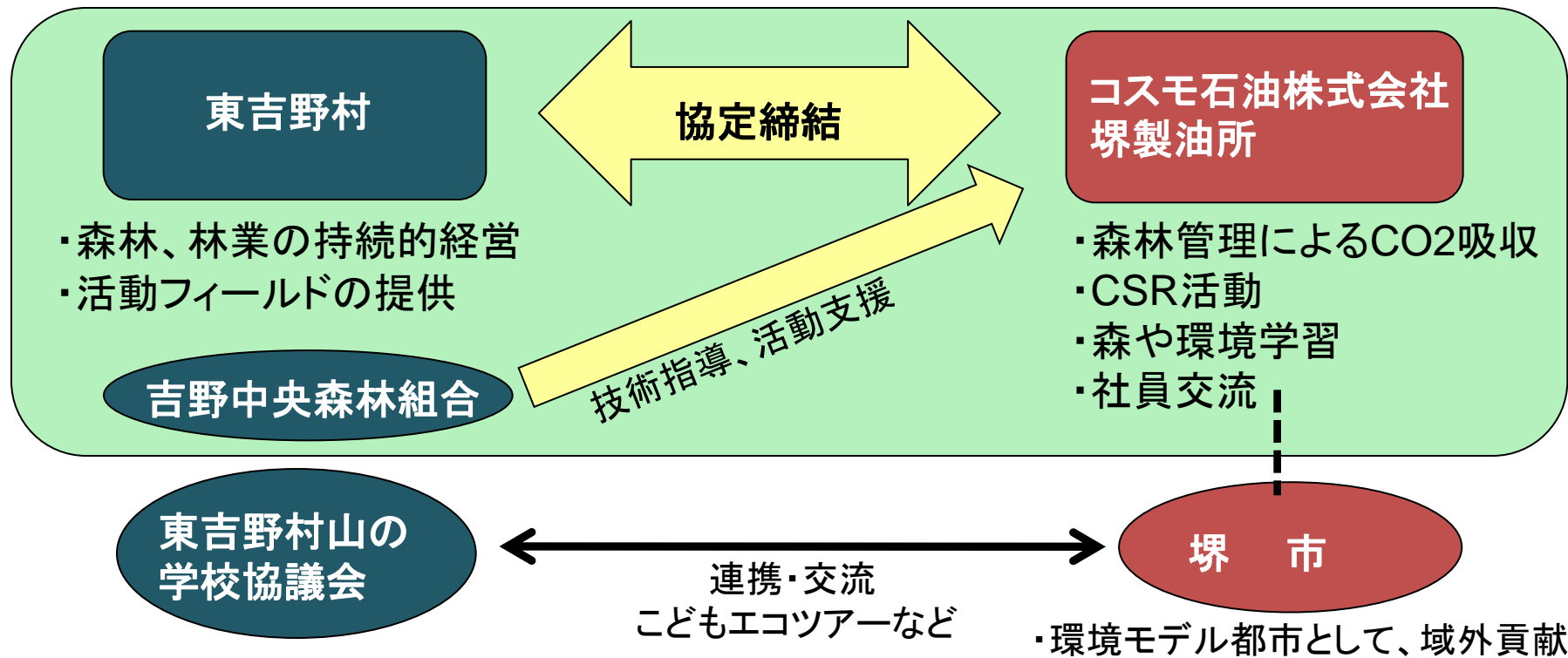
協定内容

コスモ石油株式会社堺製油所は、東吉野村美緑の森づくり事業を実施することにより、低炭素社会や環境学習、地域活性化等に貢献する。

東吉野村は、森林の地権者及び村行政として、さらに東吉野村と堺市との環境を基軸とした広域連携を進める立場から、誠意を持って協力する。

奈良県東吉野村との連携事業

東吉野村とコスモ石油株式会社堺製油所は、本市と東吉野村山の学校協議会の立会のもと、平成22年5月に締結した東吉野村美緑の森づくり事業実施要領に基づく「コスモの森づくり協定書」に基づき平成25年3月末まで村有林内で間伐等森づくり活動を行う。



活動の面積

1.0ha(1号地0.2ha、2号地0.2ha、3号地0.3ha、4号地0.2ha 幼稚園跡地0.1ha)

活動の内容

- ①森林(1～4号地)の間伐と小伐り、棚積み作業
- ②土場(幼稚園跡地)の草刈り等の整備
- ③環境学習活動等

内容	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
①森林(1～4号地)の間伐と小伐り、棚積み作業	準備作業	1号地	2号地	3号地	4号地	全体
					→	
②土場(幼稚園跡地)の草刈り等の整備	年3回程度草刈り		年3回程度草刈り		年3回程度草刈り	
					→	
③環境学習活動等	年2回程度		年2回程度		年2回程度	
					→	





活動の近況

～ コスモ石油株式会社堺製油所が第4回
「コスモの森」里山保全活動を実施～

本年10月29日(土)に、堺市の友好都市である奈良県東吉野村の村有林において、コスモ石油株式会社堺製油所員、コスモグループ社員およびご家族等の約70名に東吉野村及び堺市の職員や吉野中央森林組合(指導員)が加わり、第4回目の里山保全活動を行いました。

当日はさわやかな秋晴れの下、吉野中央森林組合の指導により、間伐の必要性等の環境学習を受けながら森林内での間伐等の作業を行いました。また、間伐材を活用したウッドチェアや梯子などの木工に加え、前回作製したウッドチェアと梯子にニス塗りを行いました。